

2025（令和7）年 5月 14日

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）札幌車両基地 壁面デザインが決定しました

鉄道・運輸機構（以下「機構」）は、このたび北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）札幌車両基地の壁面デザインを決定しました。

決定したデザインには「札幌車両基地壁面デザイン検討会」における有識者のご助言や、オープンハウスにおいて市民の方々からいただいたご意見を反映しております。

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）札幌車両基地は札幌駅の東方に位置し、長さは新幹線札幌駅のホーム東端部からJR苗穂駅までの約1.3 kmにわたり、高さは約22mの構造物となります。当車両基地は市街地に位置することから、壁面のデザイン等については周囲の景観にも十分配慮する必要があります。

このため、機構は、景観等に関する有識者による「札幌車両基地壁面デザイン検討会」^(注)を令和6年度に3回開催し、壁面デザインの検討の方向性やデザイン（外壁使用材料や色調等）についてご助言をいただきました。また、令和7年1月31日及び2月1日には、PI（パブリック・インボルブメント）としてオープンハウスを開催し、デザイン案等に関して市民の方々との意見交換を実施しました。

この度、有識者からいただいたご助言や市民の方々からのご意見を踏まえ、別添のとおりデザインを決定しました。

（注）機構 札幌車両基地壁面デザイン検討会ホームページ

<https://www.jr-tt.go.jp/project/sappororollingstockdepotwalldesign.html>

＜本件に関するお問合せ先＞
北海道新幹線建設局 総務部 広報・渉外課
TEL：011-231-3456

北海道新幹線札幌車両基地 壁面デザインについて

- P1: 最終デザイン
- P2: デザインコンセプト・デザイン解説
- P3: 取り入れた市民意見
- P4: 壁面デザイン検討会概要
- P5: オープンハウスアンケート結果

最終デザイン

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)札幌車両基地壁面デザイン検討会よりいただいたデザインに関する助言ならびにオープンハウスにていただいた市民の方々の意見を基に、札幌車両基地壁面の最終デザインを作成した。

A. 東2丁目線、4丁目線南側道路交差部



東2丁目線南側道路交差部



東4丁目線南側道路交差部

B. 東9丁目南線付近南側外壁



C. 苗穂駅付近北側外壁 (苗穂駅自由通路より)





北海道新幹線札幌車両基地壁面デザインについて デザインコンセプト・デザイン解説

(A) 新幹線札幌駅との接続性

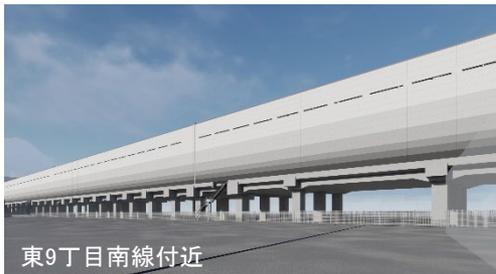


新幹線札幌駅との連続性を持たせるため、および車両基地内部の動きが少しでも外部から見えるように、縦長の窓を連続的に設置した。壁面への窓の設置については検討会でも議論となり、市民意見の中にも見受けられた。しかしながら、近接するマンションや病院に対する光害やプライバシーへの懸念から可能な限りの設置を検討した上で東2丁目線、4丁目線道路交差点部の設置としている。

以東の壁面にはグラデーションのデザインが施されるため、東2丁目線道路交差点部から明度の高い色から徐々にグラデーションが始まるデザインとしている。

なお、グラデーションの始まり方はオープンハウスにいただいた市民意見を採用した。

(B) 圧迫感の軽減と周辺の市街地環境との調和



配色は札幌の景観色70色の中から無彩色(モノトーン)の色を使用し、下から上へ明度を上げグラデーションのデザインとすることにより、圧迫感の軽減と周辺の市街地環境との調和を図った。

また、オープンハウスにおける市民意見を採用し、使用する色のうち最も明るい色と最も暗い色との明度差を抑え、緩やかなグラデーションとすることにより、印象を柔らかなものへ修正を行った。

デザインコンセプト ※建物のデザイン案を作成する上で、機構においてデザインコンセプトを定めた。

まちとともに築く

整備新幹線で初めて、都市(まち)のなかに建設される車両基地。

“札幌の景観色”を基に、空に向かって明るくなるグラデーションは、

札幌(まち)の「未来」、そしてこの札幌車両基地で日々行う検査・整備で積み重ねていく「安心・安全」を表現しています。

外観は都市(まち)と調和し、札幌(まち)や人々にいつも寄り添い、ともに過ごしながら、

札幌(まち)の未来、そして新幹線運行における安心・安全を築いていくことを目指します。

委員からの助言

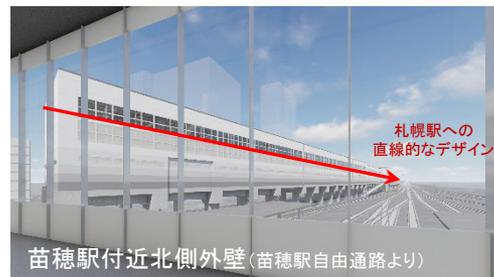
(A) 新幹線札幌駅のデザインと連続性を持たせる必要がある

(B) 長大な構造物の特性を理解した上で、都市景観に十分配慮する必要がある、また圧迫感を軽減させる必要がある

(C) 消防設備として必要な排煙窓が工場のイメージを増長させているため、そのイメージを払拭し、苗穂駅自由通路からの見え方が印象的なシンボル性のあるデザインとする必要がある

(C) 夜景も考慮したシンボル性のあるデザイン

苗穂駅方に配置される保守基地、仕業検査庫に消防設備として必要となる排煙窓を連続させ、上下で異なる透過度としグラデーションと同様に横への連続性を持たせることで、札幌駅まで伸びる線路のラインと共に直線的なデザインとした。夜間には異なる光の漏れ方をする窓が、昼間とは異なる直線的デザインを形成し、新たなシンボルとなる。



取り入れた市民意見

【オープンハウスアンケートでいただいた意見①】

下方向から見ると、**モノトーン色を少し明るめに、やわらかい印象となると良いと思います。**窓から中の新幹線が見える部分があるのですね。キレイだと思います。【他1名】

グラデーションに採用している色の明度について、中間色を採用することにより最上部と最下部の明度差を狭め、やわらかい色の移り変わりとなるように変更した。

オープンハウスで提示したグラデーションの色

N-90	札幌70色 新雪
N-85	札幌70色 霧水
N-75	札幌70色 銀鱗
N-65	札幌70色 吹雪
N-50	札幌70色 蝦夷臍
N-35	札幌70色 開拓使



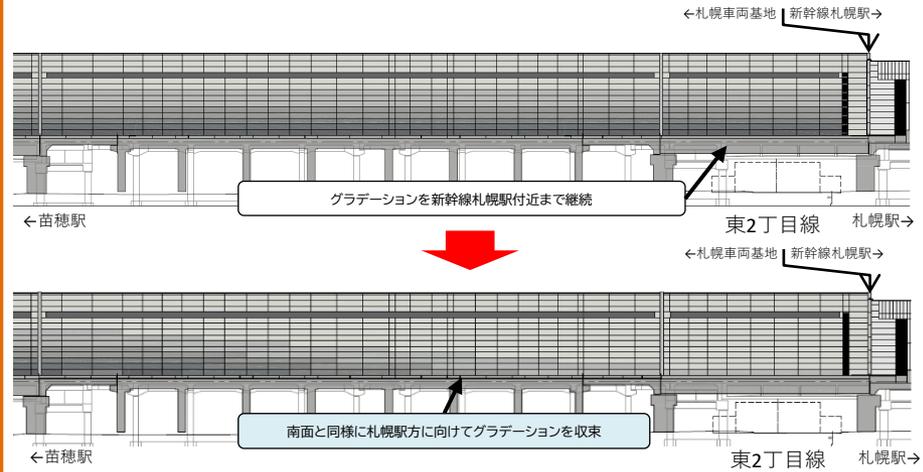
最終デザインのグラデーションの色

N-85	札幌70色 霧水
N-75	札幌70色 銀鱗
N-65	札幌70色 吹雪
N-57	(中間色)
N-50	札幌70色 蝦夷臍
N-45	(中間色)

【オープンハウスアンケートで頂いた意見②】

札幌駅との接続部に近づくにつれてグラデーションの色をうすくし、ゆるやかに下にフェードアウトしていくようなデザインにはどうか。

東2〜3丁目南側壁面の配色(グラデーション)を在来線側(北側)壁面においても採用することとした。傾斜をつけ東2丁目付近に向けて徐々にグラデーションが収束するようにした。



【オープンハウスアンケートでいただいた意見③】

色を付けないと、ビル群の中に突然にこのような大きい建築物が現れると圧倒されすぎる。グラデーションが丸みをおびたことで、圧迫が減るのがよく分かった。パネルをみて、**連続する部分の下部の色をうすくする案が、色に重みがなく良いと感じた。**

オープンハウスにおいて、壁面の白色とグラデーションの最下部の色とのコントラストを小さくした案も別案として掲示していた。自由意見の中に、接するパネルの明度差が小さい別案の方が良いという意見があり、第3回検討会にて委員からの助言を受け、明るい色からグラデーションが徐々に始まる案を最終デザインとした。

オープンハウスで提示したデザイン案



最終デザイン



接するパネルのコントラストに配慮し、段階的にグラデーション色を配色



壁面デザイン検討会概要

- 札幌車両基地は市街地に建設される長大な構造物であるため、景観上の配慮、圧迫感などに対する周辺住民への配慮が必要と判断し、札幌車両基地壁面デザイン検討会（以下「検討会」）を設置した。
- 検討会では3名の有識者を委員として招き、関係機関として北海道、札幌市、JR北海道に参加していただいた。委員から札幌車両基地壁面デザインに対して助言を受けてデザイン案を作成し、PI（パブリック・インボルブメント）を実施して、周辺住民の理解を得ながら検討を行った。
- 検討会は全3回実施し、第2回と第3回の間オープンハウス方式による説明会を開催し、周辺住民の方々へ直接説明と意見交換を実施した。最終デザインは、検討会の助言およびアンケート結果を踏まえ可能な限り住民意見を取り入れ、機構にて作成した。

■検討会名簿

（委員：五十音順）

- 小澤 丈夫 北海道大学大学院工学研究院教授
（座長）（専門）建築設計、建築史、建築意匠
- 笠間 聡 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
地域景観チーム主任研究員
（専門）土木デザイン、景観まちづくり
- 鈴木 聡士 北海学園大学工学部教授
（専門）都市計画、交通計画、地域づくり

（北海道）

- 総合政策部 交通政策局 交通企画課

（札幌市）

- まちづくり政策局 総合交通計画部 新幹線推進室
- まちづくり政策局 都市計画部 都市計画課
- まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課

（JR北海道）

- 総合企画本部 新幹線計画部
- 鉄道事業本部 新幹線工事事務

（事務局）

- 鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局

■日程・検討内容

第1回検討会 R6.9.19

- デザインするにあたっての検討事項
- デザインの制約条件
- デザイン検討の方向性
- PI（パブリック・インボルブメント）の手法
- デザインに関するフリーディスカッション

第2回検討会 R6.12.12

- デザインコンセプト・デザイン案
- PI（パブリック・インボルブメント）の実施方法

オープンハウス R7.1.31-2.1

第3回検討会 R7.3.6

- オープンハウスの実施結果
- オープンハウスでの意見を踏まえたデザイン案

■オープンハウス実施概要

- 会場 JR苗穂駅自由通路活用スペース
- 開催時期 R7年1月31日（金）14:00～19:00
2月1日（土）10:30～15:30
- 来場者数 1月31日（金）114名
2月1日（土）188名 計302名

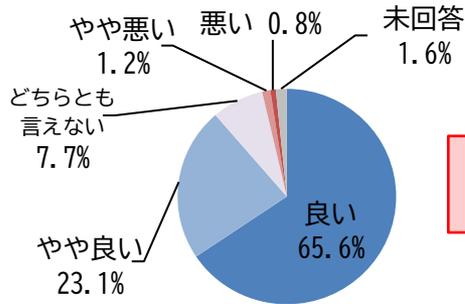
北海道新幹線札幌車両基地壁面デザインについて オープンハウスアンケート結果

オープンハウスにおいて185名の方からアンケートの回答をいただいた。また、当日参加できない方のためにWEBでの回答も可能としたところ、62名の方から回答をいただいた。結果、回答者合計の約8割の方からデザイン案に対して良い方向との回答をいただいた。

■質問内容

Q. デザインの方向性について

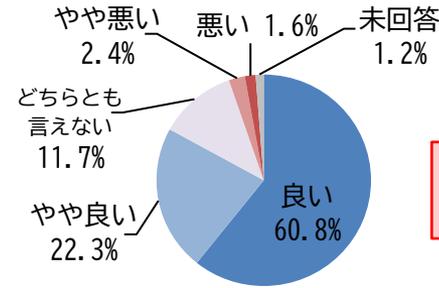
⇒ 圧迫感を低減し周辺の市街地環境と調和することへの評価



“良い”+“やや良い”
=88.7%

Q. 壁面のグラデーションについて

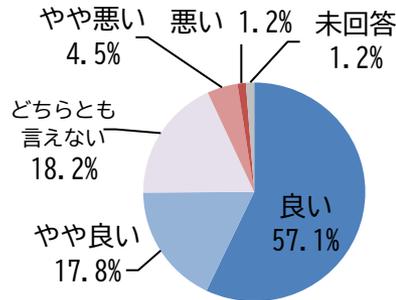
⇒ 壁面デザインの基本としてグラデーションを採用したことへの評価



“良い”+“やや良い”
=83.1%

Q. 壁面の色について

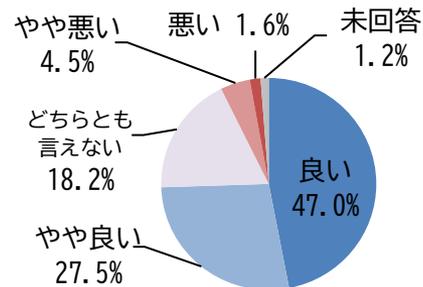
⇒ 札幌の景観色70色の中からモノトーン色を使用したことへの評価



“良い”+“やや良い”
=74.9%

Q. デザイン全体について

⇒ 主な視点場(札幌厚生病院前、東2丁目線南側道路交差点部、苗穂駅付近北側)からのデザインの総合的な評価



“良い”+“やや良い”
=74.5%

■回答数

	オープンハウス(OH)	WEB	計
回答者数	185名	62名	247名
割合	74.9%	25.1%	100%